

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用□					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローシップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC基礎		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PC基礎	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてジャズギターを学んだ後、卒業後はCM作曲家として活動を始め、現在に至るまで作曲や、楽曲のプレゼン、楽曲とコンテンツ(画像・動画等)を合わせた納品等を行う。					
授業概要						
Macを使用したPCの基本的な操作方法、一般社会で必要とされる代表的なアプリケーションの操作方法について学ぶ。						
到達目標						
Macの基本的な使用方法の修得。Word、Excel、Illustrator、Photoshopの基本知識、技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	自己紹介・簡単なアンケート&テスト 人物紹介・Macの基本操作方法：・Macの基本用語・修飾キー/キーボード記号・ショートカットの説明					
【前期】 6～10回目	Word：基本操作説明・タイピング練習・その他の機能説明・応用&課題					
【前期】 11～15回目	Excel：基本操作説明・応用&課題					
【前期】 16～19回目	復習&テスト対策 前期試験					
【後期】 20～24回目	Illustrator：基本操作説明・応用&課題					
【後期】 25～29回目	Illustrator：応用&課題					
【後期】 30～34回目	Photoshop：基本操作説明・応用&課題					
【後期】 35～38回目	復習&テスト対策 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタテインメント業界基礎講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタテインメント業界基礎講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
挨拶、敬語等の基本的なマナー、各種機材、エンタテインメント業界の知識、および音楽関連の知識の修得。						
到達目標						
社会人として必要なマナーの修得。自分が扱う機材についての知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	デジタルとは：二進数 デジタルの音声とは：音声データへの変換、標本化/量子化と補助単位/符号化とデータの量					
【前期】 6～10回目	空間系エフェクタ ディレイ：テープディレイ/アナログディレイ、デジタルディレイ/ディレイのパラメーターとかけ方 リバーブ：プレートリバーブ スプリングリバーブ/デジタルリバーブ、サンプリングリバーブ/リバーブのパラメータとかけ方					
【前期】 11～15回目	略譜面とは：略譜面の書き方/略譜面を作ってみる 歌詞カードとは：歌詞カードへの書き込み内容 歌のエディットについて：エディットの方法/フェードについて					
【前期】 16～19回目	EQとは：EQの仕組みとパラメータ/EQのかけた音とかけてない音/EQのかけた音とかけてない音の聞き比べ 前期試験					
【後期】 20～24回目	Clickとは：Clickの作り方の説明/作成の練習 パソコンのパーツについて：CPUとは/Memoryとは/Storageとは					
【後期】 25～29回目	MIDIについて：MIDIの説明/音源ソフトの立ち上げとMIDIの入力/MIDIを使ってドラム譜面を入力 録音のドキュメンタリーDVDの鑑賞：音楽で生活していくことの難しさ/作業内容、スタッフの動き					
【後期】 30～34回目	インサート・コンプレッサーについて：方法とかけ方/パラメーターとかけ方の例 インターフェース：スタジオのプロ用インターフェースの説明/インターフェースの種類と裏側					
【後期】 35～38回目	DSPの説明とHDXカード/USBコネクタの種類や速度 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	Pro Tools講座 I		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	Pro Tools講座 I		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
レコーディングスタジオで円滑にPro Toolsが操作できるよう学習する。						
到達目標						
Pro Tools、ミキシングの基礎技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Macを触ってみる：電源の入れ切り、ProToolsデータの取り扱い/音量感とは：フェーダーとメーターの役割 ドラムのパーツについて：各種パーツの名前と役割/ドラムの音量バランス：パン、各種パーツの音量感 リバーブを使うために：リバーブトラックの立ち上げ方/ディレイをかけてみる・ディレイの使い方の例					
【前期】 6～10回目	空間系とパン：左右の音の広がりについて考える/ProToolsで音データを見やすくする：様々な拡大縮小 ProToolsのモード：モードの役割と使い方 ドラムのエディット：アタック音とその見極め/グループを組む、フェードを掛けてみる					
【前期】 11～15回目	ProToolsのメモリーロケーション：メモリーロケーションで曲を把握しやすくする ボーカルのエディット：プレイリストを使ってボーカルテイクを完成させる/ショートカットを駆使してエディット速度を上げる/効率を目指して、操作を指に覚えさせる／Clickとは：Clickを作る					
【前期】 16～19回目	位置の指定やコピーアンドペースト：楽譜を参考にして、指定した場所に移動する方法 クリップゲイン：クリップゲインで歌の音量バランスを整えるデータの書き出し方/バウンスやトータル音圧の上げ方 前期試験					
【後期】 20～24回目	テレビサイズのエディット：テレビ番組で流してもらえる長さに曲を縮める/課題曲を縮めてみる テンポの変え方、ゼロ小節について：テンポや曲の始まりの位置を変える					
【後期】 25～29回目	メロダインについて：音程を直す方法/音程以外の直し方/各種Toolや音程や音長のグリッドや自動スナップ コンプレッサー：かけ方やトラックフリーズ、コミットの違い/トラックフォルダ：トラックフォルダとステムの作り方					
【後期】 30～34回目	VoSampleRecのミックス：自分の担当学生をSessionデータのImportで一つにする/ミックスをして書き出す オートメーションについて：使い方とかけ方の例/課題通りにオートメーションをかけてみる					
【後期】 35～38回目	バンドミックス：基本の音量バランス/自分なりの理想の音量バランス/他の曲と聞き比べてみる/書き出し～ミックス試聴会 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽理論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音楽理論	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース、 音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。					
授業概要						
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。						
到達目標						
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。楽譜の読み書きが出来る。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	音に関する基礎知識 Notation・省略記号:楽譜に関する基礎知識/記譜法続き 音符、休符 etc./色々な音符の種類、連符、音符の省略					
【前期】 6～10回目	速度、強弱、奏法 etc.各記号について説明 省略記号、反復記号 etc. 各記号、Repeat mark、D.S. etc. 授業内容の復習:曲を聴いて拍子、小節数チェック etc.					
【前期】 11～15回目	Major scale: #系 Major scale/ ♭系 Major scale/全てのMajor scale の調号とKey etc./ Minor scale:Major scale との関係/全てのminor scale 復習/ すべてのscaleの練習問題と音程					
【前期】 16～19回目	音程について 前期試験					
【後期】 20～24回目	chord:Major / minor triad/Augmented / diminished triad/triadの復習/4和音/chordの転回					
【後期】 25～29回目	chordについて全体的な復習 Diatonic chord					
【後期】 30～34回目	minor Diatonic chord/Diatonic chord の代理 chord:今迄の復習、曲中でのchord etc.					
【後期】 35～38回目	Substitute chord:学生の様子、希望により授業内容決定 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音響基礎知識		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音響基礎知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース、PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
レコーディング実習Ⅰ・PA実習Ⅰが実践中心の授業であるのに対して、本授業では、スタジオ内の機材ひとつひとつの名称や使用方法等、基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
理論的な理解を深め、正しい機材取扱い方法の修得。物理学的な要素を学び、正しい音響機器の設置方法、音場整理の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業説明、最低限の英単語をチェック 基本用語/音の3要素:音の仕組み、音速、、音程(周波数)/音色/音量					
【前期】 6～10回目	マイクについて:マイクとは～ダイナミック、コンデンサー～リボン、チューブ/指向性、近接効果など 音声ケーブル:バランス、アンバランス/スピーカーケーブル、コネクタ					
【前期】 11～15回目	信号の流れ:Mixer、ブロックダイアグラム/マイクレベルとラインレベル/DI、インピーダンス、トランス					
【前期】 16～19回目	楽器の名称と略語/エフェクターについて/EQ:パラメトリック、グラフィック、Filter、パラメータ/GEQ31Band憶える 前期試験					
【後期】 20～24回目	Reverb:Revの種類、パラメータ/接続法(Sendを使って、PRE/POST) Delay:パラメータ、テンポディレイのタイム計算/ディレイの応用機、ハース効果					
【後期】 25～29回目	音響心理(ハース効果含む)/スケジュール調整予備/Compressor・Limite・Expander・NoiseGaterの機能とパラメータ スピーカー:ユニット/エンクロージャー					
【後期】 30～34回目	マルチウェイ/マイクレベルとラインレベル Group:VCAグループ、サブグループ/オーケストラの楽器の並べ方					
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
レコーディングにおける、プランニング、マイキング、楽器や歌の録り方、ミキシング、マスタリングと一連の流れを学ぶ。						
到達目標						
2年次の技術修得に向けて基礎的な技術力を身に付ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	スタジオを知ろう:スタジオの使い方と注意電源入れ切り VoMicセッティングと道具:VoMicセッティングの説明と実演					
【前期】 6～10回目	1号館RecST:1号の電源入れ切り スタジオの名称役割、防音とは/信号の流れを学ぶ Voを録る準備:回線、CueBox、ドラテの書き方、マイクスタンド/マイクレベルとラインレベルとVo音量					
【前期】 11～15回目	Voを録る準備:講師が歌うのを録ってみる練習 VoRec:お互いに録り合う事で練習をする					
【前期】 16～19回目	複数のマイクの立て方と注意/ドラムのキック・スネア・ハイハット・タム・トップのマイキングと聞き比べ 前期試験					
【後期】 20～24回目	VoSampleRec:Vo系コースの歌を録音する					
【後期】 25～29回目	アンプのセッティング:DIを用いたAmpセッティング キーボードとアコギのセッティング:キーボードとアコギのセッティング					
【後期】 30～34回目	スタジオ大掃除:修理やメンテナンスが必要な場所を知る クラスバンドREC:ドラムベースの録音/ギターやキーボードの録音/歌の録音とミックス作業					
【後期】 35～38回目	クラスバンドREC:ドラムベースの録音/ギターやキーボードの録音/歌の録音とミックス作業 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PA実習 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。					
授業概要						
簡易PAセットを使ったセッティングの基本からプロ仕様の機材を使ったコンサート現場を想定したセッティング、およびユニットなど少人数編成から、4人編成程度のバンドオペレートについて学ぶ。						
到達目標						
アナログ機材についての理解、2年次のデジタル機材を学ぶ準備を整える。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	機材について(主幹、機材の持ち方、運び方)/電源について、テスター使い方/Cableの種類、用途 機材のSET UP(SX300STAND/MG16)/信号の流れについて(SX300STAND/MG16 TB,HPLLevel)					
【前期】 6～10回目	SPEAKER CHECKについて(SP繋ぎ、P7000/CD,ipod接続/PRE.POST) SYSTEMを変えてSET UP(725Passive× 1/MGP32/VRX915M)/MULTI CABLEについて					
【前期】 11～15回目	SPEAKER 2対向・Sub(725Passive× 2/728/MULTI in out)/Bi-AMP/Sub(725Bi-AMP/728 3way) TALK Live(SE叩き/TALK MIC のバランスとり/BGM)					
【前期】 16～19回目	カラオケ(DAM)/A.G(バランスをとる・モニターに返す) 前期試験					
【後期】 20～24回目	Digital Mixerについて(M7CL移動/M7CLの説明/patch/INSERT/SCENEMEMORY/USB) VERTECについて(VERTECの説明・デジタルAMP)					
【後期】 25～29回目	MIC視聴(DRUMまわりのMIC聴き比べ/BASS ,GUITAR,AG/VOCAL/Key) 音源再生(SOUND CHECKやり方/BANDのバランスをとる)					
【後期】 30～34回目	企画ライブ対策(資料に沿って仕込みをする、転換練習/sound check、転換、チューニング、)					
【後期】 35～38回目	BAND(有線IEMの繋ぎ)、総復習 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	レコーディング実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	レコーディングコース / PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	レコーディングスタジオ見学					
3回目	Inter BEE見学					
4～5回目	ゲスト講師によるレコーディングスタジオ実習					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						